

ボランティア活動報告2017

大学間連携 夏の合同ボランティア学習会④

西南学院大学（福岡）

2017年9月4日(月)に尚絅学院大学にて、西南学院大学（福岡）との夏の合同ボランティア学習会が開催されました。今回のプログラムにはボランティアセンターの学生とスタッフの皆さんが参加し、TASKIの学生と意見交換を行いました。

西南学院大学は、2016年に発生した熊本地震で甚大な被害を受けた熊本県内での活動や、2017年の九州北部豪雨でのボランティア活動など、被災地支援を続けています。学習会では、地震発生直後から現在に至るまでの活動報告や講話、九州北部豪雨で泥出し作業を実際に経験した学生の話など、貴重な発表を聞くことが出来ました。



お昼の時間には、それぞれの地元の方言、名物の話などで盛り上がり、短い時間の中でしたが、ぐっと距離が縮まりました！

また TASKI の学生が作った活動紹介のパネルに興味を持っていただきました。

お互いの活動に関して質問し合う場面も見られ、非常に活発な意見交換ができました。



TASKIより九州北部豪
雨募金のお渡し

最後はみんなでお見送り！



〈参加学生の声〉

私たち TASKI は、大学が位置している名取市閑上を拠点に、地域に寄り添う活動を続けていますが、西南学院大学の皆さんは地元九州だけでなく東北でも活発に活動をされていると聞き、正直驚きました。また、熊本地震が起きた直後に募金活動や少数でのボランティア派遣、さらにはボランティアを行う大学生のための宿泊施設を整備するなど、今自分たちができることは何かを冷静に考え、迅速に対応する学生の皆さんの姿は非常に勉強になり、刺激を受けました。

今回の学習会を振り返ってみると、被災地支援において重要なことは「継続すること」なのだと再認識しました。その場限りではなく、長期的に活動を続けることで初めて、「寄り添う」ことが形になるのだと感じました。こういった他大学との交流は貴重な経験ですし、自分たちが活動する上で非常に参考になる部分もあるので、機会があれば今後も参加していきたいです。(人間心理学科 3年 C.S)



笑顔で記念撮影！

文構成：人間心理学科4年 齋藤千愛（連携交流課 ワークスタディ学生）